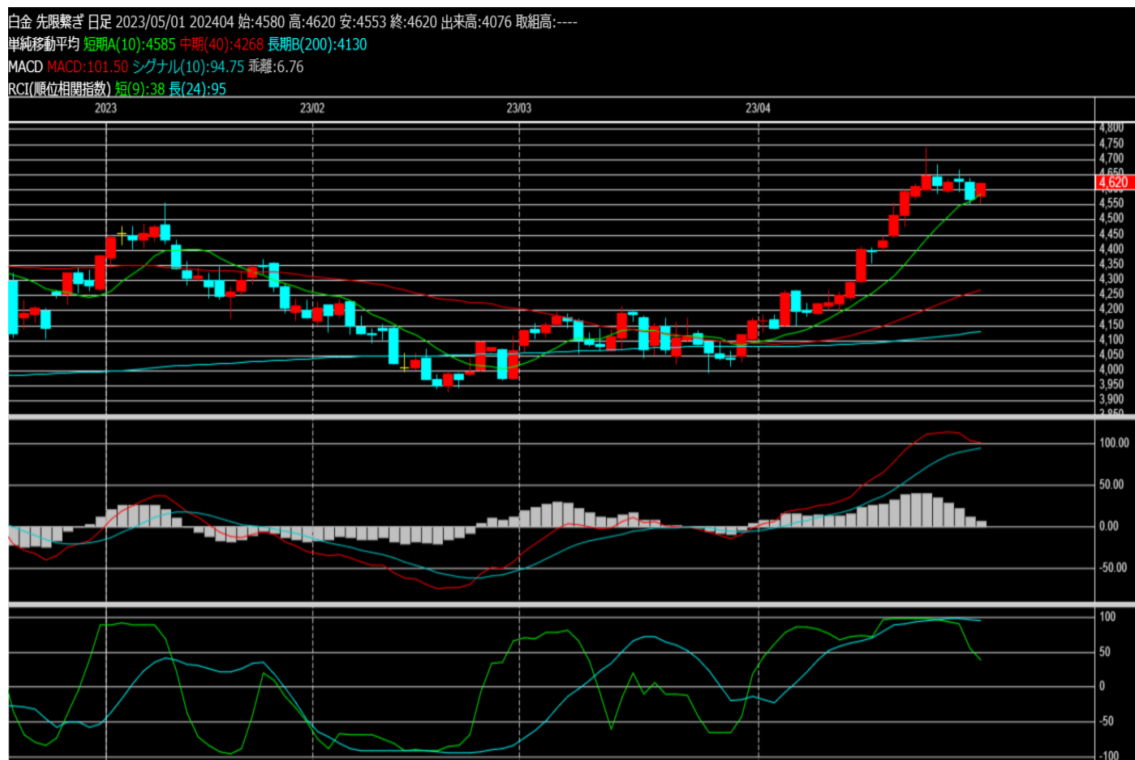


<白金標準先物、電力不足は未解決であり 4500 円以下は強気維持・・・>



(出所：オアシス)

南アフリカの電力問題は、ステージ 6 の負荷制限をステージ 4 へ引き下げるなど電力不足は目先軽減されている。ただ根本的な解決策はないのに等しく電力需要が多くなる 6 月～9 月冬の時期に向けて電力リスクは残ったままである。特に 2015 年 2 月以来の 4700 円台を回復し、目先の要因で一時的に 4552 円まで下値を模索したが、日銀金融政策決定会合を受けた円安に支えられ、週末には 4620 円まで戻りを見せている。特に来週は、ゴールデンウィークも入り、FOMC や ECB 理事会のイベントも控えるなど、為替市場では円安・ドル高、円安・ユーロ高の様相が強まると見られ、円建て価格である白金標準先物は更なる高値を模索する展開には注意が必要である。

しかし為替要因が無ければ、テクニカル要因は目先調整安を行う可能性が高く、FOMC や ECB 理事会を市場が織り込み目先の調整安の値動きに注意が必要と思える。ただ 5 月ゴールデンウィークを終えると 15 日は WPIC 第 1 四半期 PGM 需給報告が発表され、毎年 5 月に中国上海市でプラチナパーティーが開催され、JM 社が PGM マーケットレポートを発表している事など踏まえると需給要因を受けて更なる高値を試す可能性は高くなると思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** は下げながら **シグナル** は切り上げており、目先デットクロスに注意が必要である。RCI は **短期** が下げながら **長期** は切り下げるなど、オシレーターは弱気に転換する動きを見せ、日足が **10 日移動平均線** を試すなど、目先の調整には注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,670,000 円(2023 年 5 月 1 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 40,700 円(2023 年 5 月 1 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>